

SUMIDA *de* Challenge

3人の
挑戦マップ
掲載



お問い合わせ

墨田区産業観光部産業振興課

〒130-8640

東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号

03-5608-1437

令和4年3月発行



ものづくりのまちで
あなたの日常が、もっと充実

すみだではじめるチャレンジ支援 book

Sumida Ward supports your challenge

墨田区はあなたのチャレンジを応援します

「いま取り組んでいることから、 新たなステップに進みたい」

そんな皆さんにぴったりのまち、それが墨田区です。
このまちには、挑戦するあなたの成長につながる人やサービスが集まっています。下町の人のつながり、様々なものづくりをする工場、熱意あふれる役所のサポートなど、ワクワクすることがたくさん。そんなまちにあなたも溶け込み、このまちであなたの取組をさらにおもしろくしませんか。



昔ながらの人情が 息づくまちで あなたらしいチャレンジを

墨田区はものづくりのまち。まちを歩けば、あなたが叶えたいことを形にしてくれる人やサービスに出会えるかもしれません。ものづくりの経験がなくても、このまちに関わりがなくても、地域に根付いた支えあいであなただけをバックアップします。



革製品

すみだで始めるものづくり 私の挑戦MAP

ピガupp 児嶋真人さん

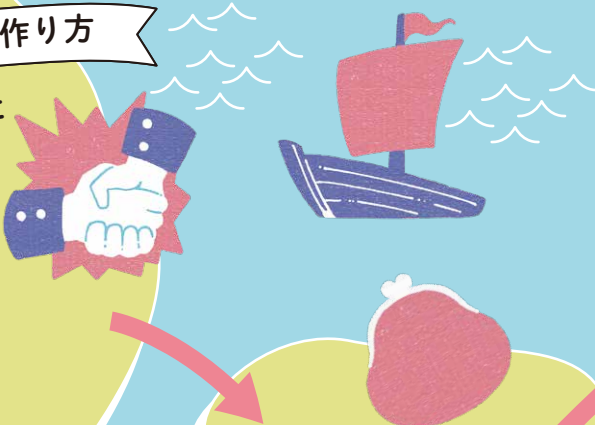


高校卒業後は地元茨城で5年間ほどサラリーマンをしながら、ダイエツト目的で近所のキックボクシングジムに通い始め、試合に勝ちたい思いを持ち続け、プロにまでなれました。一方で、その頃からファッションに興味があり、自分でデザインしたローファーを中国で200足作り、販売しました。しかし第二弾の製品ではものづくりの厳しさを味わいました。

人脈の作り方

step 01 豚革への自分の想いと熱意を伝え続ける

第二弾の時は国内で牛革製品を作りましたが、品質の確保や競合の多さや形が出尽されている事を知りました。悩み続けて行く中で豚革に出会い、豚革で製品を作ろうと決意しました。その過程で出会った方の所へはよく顔を出し、どんな製品を作りたいのか想いと熱意を伝え続けました。2021年の引退試合の際には会場に来ていただき、繋がりが強くなりました。



資金・知識の集め方

step 02 広くアドバイスをしてくれる「すみサポ」を活用

墨田区は国内1位の豚皮革の加工産地のため、一番応援してくれそうな区だと思い、「すみサポ」に相談。事務所を区の新ものづくり創出拠点「co-lab墨田亀沢」に決め、資金面では区のチャレンジ支援資金を活用しました。ほかにも補助金やクラウドファンディングの相談をしました。

☑️ すみだに来たらこんなことが！

頑張れば頑張るほどに、応援してくれる人が増えました



ものづくりの広げ方

step 03 もっと多くの人に豚革の魅力を知ってもらいたい

豚革の魅力を知ってもらうために保育園で豚革のおもちゃを使った食育授業を行ったり、漫画を友人に描いてもらってWebやSNSで公開したりしています。新商品の開発費用としてクラウドファンディングで募ることもチャレンジしました。今では墨田区の革に関わる多くの人たちから協力頂き、安心して豚革のものづくりをお願いできています。



豚革でできた名刺入れ

step 04 豚革がもっと必要とされる社会を目指して

豚革は、食肉加工の工程で生まれた皮を使用するサステナブルな製品です。「豚さんが喜んでくれるような革の使い方をする」をコンセプトに事業を進めています。そして、豚革の普及を目指し、Saiというレディース向けの小物ブランドを立ち上げました。2022年にはギフトショーにも出展し、さらにOEMや卸などの事業も進めていきたいです。



Saiというブランドで様々な商品を展開しています

ピガupp

営業時間 9:00-19:00 (完全予約制)
定休日 不定休
住所 東京都墨田区亀沢 4-21-3 ケイエスビル 3F
TEL 080-4869-9778
e-mail info@pigup2021.com



▲WEB



▲Instagram

すみだで始めるものづくり 私の挑戦MAP

KILLYEDNA 高橋華子さん



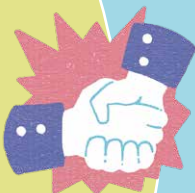
高校卒業後事務職につきましたが、洋服を作る勉強がしたくて仕事をやめ、縫製学校に1年間通いました。その後、結婚・出産をし、当時片手に赤ちゃんを抱きながら、もう片手で物を出し入れできる可愛いバッグがありませんでした。そこで、自分でママバッグ・ベビービブ(よだれ掛け)を作ったのがスタートです。

step 01 すみだは会社や個人事業主との垣根がない

墨田区にアトリエを構え、区内の様々な職業の方とつながりたくて、集まりには積極的に参加しました。

そこで知り合った方に分からない事があると相談に乗っていただき、解決できたことはいくつもあります。事業者同士でもお互いに声を掛け合って、人のつながりが広がるようにしています。墨田区はそのような人脈づくりがとても盛んだと思います。

人脈の作り方



資金・知識の集め方

step 02 調べきれないので公的な窓口を上手に使う

様々な催事に出展していく中で、販路開拓を支援する国際ファッションセンター(KFC)にお声掛けいただき、国内展示会に出展しました。フィンランドのイベント出展時も含め墨田区の補助金を活用しました。

クラッチバッグのオリジナル木工口金を制作する際には、墨田区のものづくり事業者とデザイナーとのコラボレーション事業で山形県の協力会社を紹介していただき、無事満足できる商品を作ることができました。

☑ すみだに来たらこんなことが!

分からないことを、
どんどん質問できる人達に出会えました



ものづくりの広げ方

step 03 ブランドに共感してくれるファンを大切に

展示会でお声掛けいただいた百貨店等の催事に積極的に出展、お客様と直接のやり取りをし、つながりを強く意識しました。2008年から5年間、楽天市場に出展後、自社ECサイトに切り替え、商品販売やウェブカタログとして活用しています。また、ブログやSNSなどお客様とのつながりに時間を割いています。



店内には洋服や雑貨などが並んでいます

step 04 お客様とのつながりを意識した仕組みを作る

コロナ禍の中で展示会や催事といったフォーマットが崩れました。マスクが品薄な状況下で働く女性が身に着けられるよう、ファッション性と機能性を兼ね備えた「美女マスク」を販売、百貨店を中心にたくさんの方にご購入いただきました。”お客様が求めているニーズを形にする”ブランドとしてKILLYEDNAのファンになっていただけるよう努めております。



KILLYEDNAの新ブランド「HANA TOKYO」の革ポーチ

KILLYEDNA (キリィエドナ)

営業時間 金曜日～土曜日 13:00-19:00
(催事等でお休みする場合がございます)

定休日 日曜日～木曜日

住所 〒130-0001

東京都墨田区吾妻橋 1-16-5-2F

T E L 03-5637-8608

U R L <https://killyedna.com/>



▲Facebook



▲Instagram



▲Twitter

すみだで始めるものづくり 私の挑戦MAP

Builders 町田泰彦さん

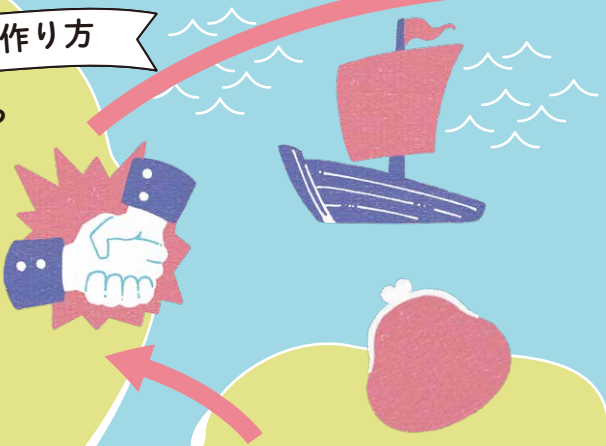


法学部を卒業しましたが、広告の自由な表現に憧れて専門学校に行き、グラフィックデザインのお手伝いのような事をしていました。でも、下地のある人達との差が埋まらず、その道は諦めました。その頃にグルメバーガーと出会い、味に衝撃を受けて食べ歩きを始めました。そして、自分でお店を持つと決意し、人形町の老舗に27歳で入店しました。

人脈の作り方

step 02 すみだで開業したから こそその出会い

実家が江戸川区で町工場を経営していました。町工場で誠実に仕事をする人が多い墨田区に親近感を持ち、経営面も考慮した上で店舗を決めました。そのため、お客様は近隣の方で、リピートが多いです。また、区の制度やイベントを利用する中で知り合った地域の飲食業や異業種の方との出会いも多くあり、人脈づくりに役立ちました。



資金・知識の集め方

step 01 周囲に目を向けると 意外とあります

人形町のお店では独立志向の方が多く働いており、人材の育成や経営の数字やPR活動など経営に関する事を多く学べる機会がありました。独立時には仕入れ先を同僚やお店から紹介をしてもらいました。資金などは区の融資などを活用しました。独立後も元同僚や近隣の飲食業の方たちと情報交換をしています。

☑️ すみだに来たらこんなことが！

街にとっても馴染めて、
異業種の方との交流も多いです



ものづくりの広げ方

step 03 失敗を恐れて何年も経つのは もったいないです

自分へのご褒美などの時はきちんとした外食をしてほしい、そして、グルメバーガーを身近にするために街にお店を広めたいという想いがあります。そのため、お店を出したいという熱意がある方には全てを教えています。やってみたくと思ったらやってみると良いし、ダメなら次にやってみたくをすれば良いと思います。



オシャレな雰囲気の店内

step 04 もっとお客様のために 続けること

私は自分の店のハンバーガーが1番好きです。そしてお客様にもっと喜んでもらえるようにパテの作り方も肉肉しいステーキのような味わいとなるように大きく改良しました。SNSなどでグルメバーガーをよく食べ歩いている方たちからビルダーズが一番好きと言ってもらえると、とてもうれしいです。これからもどんどん美味しくなるので期待してください。



肉のうまみが広がるBuildersのハンバーガー

Builders

営業時間 ランチ 11:00-15:00 (L.O 14:30)
ディナー 17:00-21:30 (L.O 21:00)
定休日 水曜日
住所 〒130-0005
東京都墨田区東駒形 3-23-3 関根ビル 1F
TEL 03-6325-7901
URL <https://www.builders-hamburger.com/>



▲Facebook



▲Instagram

チャレンジするなら墨田区へ！

☑ すみだビジネスサポートセンター



ものづくりや事業でのお悩みやご相談は、すみだビジネスサポートセンター(すみサポ)をご利用ください。すみサポは墨田区の経営者・事業者の皆さまなど、様々な経営課題や技術課題をワンストップで支援する窓口です。

何度でも無料で相談ができ、豊富な知識と経験をもった産業コーディネーターが、技術・経営課題から今後の戦略策定まで総合的にアドバイスいたします。また、測定・試験機器や3Dプリンタも安価な料金でご利用いただけます。

この冊子で紹介した方もすみサポを活用しています。お仕事のことでお困りのことがございましたら、お気軽にお越しください。

問い合わせ方法

以下のいずれかの方法でご連絡ください

① 電話番号

03-5608-6360

② ご相談予約フォーム

▼右記QRコードよりお申し込みください



様々なサービスで応援します。

☑ サブス区



「事業アイデアはあるのに、製品がつかれない」「人のつながりがほしいけど、東京の人は冷たそう…」「役所のサポートがほしいけど、零細企業は相手にされない…」など、スタートアップにまつわるお悩みを持つ方々と、墨田区の地元企業や住民の方々、さらには経営サポートサービスとの接点を生み出し、夢をもってスタートアップを志す皆さんを応援します。墨田区で創業、または区外から墨田区へ移転・移住するだけで受け放題になる、人情サービスです。



☑ 新ものづくり創出拠点



「こんなものをつくりたい」といった想いやアイデアを、ものづくり職人たちの技術や経験をかけ合わせることでかたちにする場です。「ものづくりのまち」ならではの、印刷・金属・繊維・革など様々な業種による10拠点が開設されています。ものづくり相談はもちろん、この写真のような交流イベントなどを実施している拠点(co-lab墨田亀沢)も。今までになかった製品やサービスを、あなたが生み出せるかもしれません。

